

教科横断型授業「物理」×「音楽」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(3番)「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保する」				
実社会での課題	産業社会の進展に伴い、様々な種類、振動数の音が発生し、人々の健康的な生活を阻害する事態となっている。お互いの生産活動や生活を保障しながら、騒音問題を解決していくための取組が求められている。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	心地よい音や騒音の特徴に気づき、社会にあふれる音による健康被害等のない、互いに住みやすく持続可能な社会を作るためには、どうすればよいのかを考えさせる。				
主題(教材)	音のさまざまな面を理解しよう				
本時の活動	学 習 活 動	時間 (分)	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等	
	導 入	音の基本的な性質について改めて整理する。	5	○ 音の三要素について説明し、物理的な性質から音を捉えさせる。	○電子黒板 ○PC
	展 開	1 よい音について、音楽的見地から説明する。	5	○ 表現と音の関係を、ビブラートを例にとって、物理的側面も補足しながら説明する。	○電子黒板 ○PC ○DrDAQ ○Saxophone
	開 発	2 Saxophoneの実演を聞き、よい音の特徴を捉えるとともに、物理的特徴も捉える。	15	○ DrDAQで波形と周波数解析をリアルタイムで見ながら、その特徴を捉える。	○Teams ○生徒用端末
	開 発	3 騒音の例を挙げ、その特徴について話し合う。	10	○ 一人ひとりにとっての騒音を挙げる中で、その性質から規制の方法に気づかせる。	
	開 発	4 騒音公害のない社会を作るために必要なことを考える。	10	○ 現在の環境規制法による方法以外に、騒音公害を防ぐ手立てはないのかを検討させる。	
	整 理	○ 学習内容を確認させる。 ○ 本時の感想をまとめる。	5	○ 学習内容を確認させ、感想をまとめさせる。	○Teams ○生徒用端末
備 考					